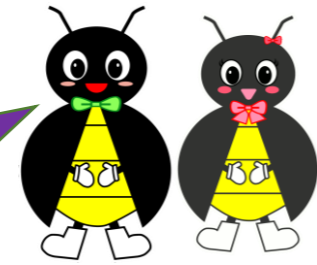


二条里づくりの会 便り 〔7・8月合併号〕



発行元：二条里づくりの会
発行日：平成30年7月25日

「第29回 二条ホタル祭」 出店！（共催）

6月6日（水）晩の「ホタル観賞会」を経て9日（土）、ほたる会館広場を会場に「第29回 二条ホタル祭」が盛大に開催されました。本年も、中西中吹奏楽部や眞田良重さん（上黒谷町）所属の「音のパレット」を始めとする、総勢5団体の演奏や演劇が披露され、本部集計で地区外よりおよそ1400人の方々が登場！地区内の15団体の出店も絶好調で、夜7時頃には早くも完売御礼のお店が出現！かなり儲かったのでは？（笑）今年から我が「二条里づくりの会」が共催という形を取り、来年は区切りとなる、記念すべき「第30回」を迎えます。地区内の体制が徐々に一本化出来るよう、頑張りたいものです！



好評？ しし井5人娘！◎



杵つき、豊田章夫氏！
見つめるのは誰？



全景（後方より）
参加者1600人は、過去最高？



右から3番目が、眞田女史！
この写真では、判別不可！（笑）



全景（前方より）
ひとまるビジョンを逆取材！

「通学合宿」と「ボランティアハウス」 （くらし部会取り組み）

地区内の皆さんは、「つろうて子育て班」の存在をご存知でしょうか？12名の各層の男女が班員となり、地域ぐるみで子ども達の育ちを支え、子ども達の安全で健やかな成長に資すると共に、子ども達と関わる中で保護者や地域の大人・団体同士の繋がりをも深め、地域自体も元気になることを目的に、本会くらし部会に所属、平成29年度から活動しています。

7月5日（木）から7日（土）の2泊3日で計画された今年の「通学合宿」は、残念ながら6日の日から出された大雨洪水警報の影響で1日短縮の開催となってしまい、3年生から6年生までの参加児童10名は、友達との宿泊が最高に楽しかったようで、とても残念がっていたそうです。

後日アンケートを出してもらいましたが、それぞれの目当（めあて、目標）は「守れた！」ようですし、嬉しかったのは「朝と夜のごはんが美味しかった！寝る時が楽しかった！もらい湯で、友達と一緒に入れた！」こと等だったようです。反対に困ったことは、特に無かったという子どもが多かった中で、「3日目が中止になったこと！蚊にたくさん、刺されたこと！」等を書いてくれた子どももいました。

良き夏の日の思い出になってくれたことでしょう。



心3日間の先ずは！



地元女性陣の夕食は、お陰で食べられる！



小学校までは3kmの道程です！

「二条ボランティアハウス」は、毎週月曜日の放課後、子ども達がのびのびと遊ぶのを、地区の方々やつろうて子育て班のメンバーで見守る活動です。今年度は、（農）横尾衛門さんの指導で糶まきをしたり、田んぼの中を歩いて草取りをしています。体育館で遊ぶ日や外で遊ぶ日に、子ども達を見守って下さる方がおられましたら、ぜひご協力下さい。お願いします。今年度は、「①桂平小通学合宿 2018、②二条ボランティアハウス、③交流事業」の3事業を計画・実施中で、6月3日（日）には、保護者や教職員の皆さんとのより良い関係づくりを目的に「おつかカレー」を行ない、カレーライスを振舞いました。保護者や教職員の皆さんと話が出来、つろうて子育て班を知ってもらいたいきっかけになったのではと思っています。



おつかカレー = お疲れ～（笑）



地区の高齢者から色々とお話を聞くのも楽し！



田んぼで泥んこの後は、川ヘダイブ！



鮎を焼くのもみんなと一緒にOK！

「有害鳥獣対策推進特別委員会」、 開催！（役員・運営委員対応）

平成28年度に2回、当公民館を舞台に行なわれた益田市議会の「有害鳥獣対策推進特別委員会」が2年ぶりの6月28日（木）午前、議員6名・市職員6名をお迎えして開催されました。

今回2年ぶりの開催となった真相は、特別委員会のメンバーが交代し、改めて新人の基礎知識習得の必要が出て来た為だそうです。故に、皆さん真剣そのもの！中には、自分のお住いの地区がやはり被害に遭われている事で、地区へのフィードバックも考えておられた議員さんもおられたように感じられました。

当日は、先ず「サル困い檻実証実験」現場にご案内！その後公民館に移動し、お馴染みの竹田尚則運営委員に加えて今回は、佐藤伸廣運営委員と安田政行猟師にも参加して頂き、講師3名体制で臨みました。今年4月までの視察受け入れ等では、未だに檻にサルが侵入した実績は無かったのですが、去る5月22日（火）の午後4時20分過ぎからの約20分間、カメラで見えた範囲内では「およそ40頭」の群れが初襲来し、「内5頭」ほどが檻に入った時の記録映像をお見せし、昨年の8月末からのおよそ9か月間を掛けての実績報告に、竹田講師曰く「こういう防除活動は、少なくとも4～5年のサイクルで考え、根気強く実行していかなければならない。それが、安易な捕獲等に頼る取り組み、つまり他地区とこの二条地区との違いです」との説話は、正しく「金言」に聞こえたのは私だけだったとは思えません。



先ずは、現地にて説明！



皆さん、真剣です！



当日講師のお三方！



調理4人娘です！



ただひと言、美味しい！



黙々と食べる一同！

ちなみに今回の特別委員会は、議員さんと市職員の昼食までを本会に頼まれ、豊田妙子・下瀬利恵・宅江久恵・今西恵美子の4名にお願いし、地元食材をふんだんに取り入れた「絶品昼食」を作って頂きました。皆さん、「美味しい、美味しい！」のオンパレードで、中にはご飯やみそ汁を2杯、3杯とおかわりされる方も。手作りの良さと地元食材の新鮮さ、美味しさを実感して頂けたであろう、最高のひと時を提供出来たのでは…。4名の女性陣の皆さん、大活躍ありがとうございました。

「ルーラル・ミーティング in しまね 2018」、開催さる！（役員・運営委員・一般会員対応）

本年4月末に話が舞い込み、その後3回の協議を経て7月12日（木）、グラントワ・小ホールにて「ルーラル・ミーティング in しまね（H30）」が開催されました。これは、島根県農業農村整備推進協議会の主催で、島根県や益田市等が協力、水土里ネット島根（島根県土地改良事業団体連合会）が実施主体となり、2日間にわたって行なわれたものです。

先ず11日（水）、先遣隊の水土里ネット島根の職員さん3名が来館され、「公民館前・サル囲い檻実証実験現場前・ほたる会館前・つどい前」の4か所に各3本ずつ、幟を設置！公民館のホール内の準備も済ませて帰られました。

翌12日（木）午後1時より、農林水産省農村振興局による「農業農村政策説明会」が1番手。その後2時20分より、お馴染みの藤山 浩 先生の基調講演、3時30分より進藤金日子（かねひこ）参議院議員の特別講演があり、4時からの1時間10分で「農村の経済成長・地域活性化の仕組みづくり」と題したパネルディスカッションが行なわれ、我が里づくりの会を代表して品川会長が登壇！



先ずは、公民館前で打ち合わせ！



会場外3か所に、幟立て！



藤山先生のご講演です！



進藤参議院議員のご講演です！



パネルディスカッションの様子！



パネラー5名です！



品川会長の雄姿です！



最後は皆で握手！

パネラーは、藤山・進藤両先生、品川会長の他に、（株）キヌヤ LBクラブ推進室 室長 戸津川 健氏と前西部農林振興センター所長 田邊裕彦氏、そしてコーディネーターを島根県農林水産部農村整備課長 廣川正英氏が務められ、我が品川会長は「本会の発足のきっかけ、現在までの歩み。地域づくりの課題と問題点。過去・現在・未来の取り組み」等々を話され、キヌヤの戸津川室長は「ローカルブランド育成の大切さ。地産地消商品の売り上げ構成比を20%に。地産地消から地消地産へ」等々のお話と提言をされ、個人的には「地産地消から地消地産へ」の提言に興味を湧きました。これは、従来の「地元で作った物を、地元で消費する！」の考え方から、「地元で消費する物を、地元で作る！」との方向（方針）へ変えて行った方が、向き合い方が変わるのでは」とのもので、なるほどなあ！と感心させられた次第です。

その晩は場所を市民学習センターに移し、午後6時より懇親会が催され、品川会長・豊田事務局長・堀江応援隊員の3名が出席。二条地区からは他に谷本大輔氏が（農）横尾衛門を代表してご出席。浜田の地ビールやキヌヤ特製のオードブルを頂きながら、ご参加の皆さんとの色々な地域づくりの話に花が咲きました。「一宿一飯の恩義」や「同じ釜の飯を食う」とは昔から言いますが、やはりたまには「本音を聞かれる！」ことから、酒を酌み交わしながら話をするのも良いものだと思います。



朝8時26分の風景！（全景）



公民館前での打ち合わせ風景！



バス到着！（誘導は岡崎三喜男氏）

翌13日（金）の「現地視察」は、朝9時過ぎから順次開始。総勢110名の視察者が2班に分かれ、公民館では「9:20～10:15」と「10:20～11:25」の2回、説明会！片方の班に説明している時は、もう片方の班が「つどい・ほたる会館・サル囲い檻実証実験現場」を視察。外回り3か所にも2名ずつの理事・運営委員さんに説明役で張り付いてもらい、巡回のバスや自家用車が公民館に到着する時は、役員・運営委員総出で誘導し、お帰りの際はお見送り！この日は本当に皆さん、ご苦労様でした。

この「ルーラル・ミーティング」という催しは、毎年県下いずれかの地で行なわれているもので、「土地改良区の関係者の研修会 兼視察会」とでも説明すればお分かり頂けるかと思ひます（ちなみに「ルーラル」とは、「田舎の」という意味です）。

今年はそのお鉢が益田に回って来、しかも昨年12月2日に広島県庄原市まで遠征し、品川会長と岡崎三喜男副会長に講演して頂いた時と同じように、藤山 浩 先生から「二条」の名前が出されたことによる受け持ちです！まあ、こちらもそれなりに場数を踏み、多地区からの鋭い質問にも答えなくてはならないという意味では、自分の勉強にもなり、これから尚更事業を推し進めて行かなければいざい答えられなくなるという危機感もイヤという程味合わされて来たことで、腹も座る絶好の機会ではないかと思うようになって来ました。

前述した「特別委員会」の受け入れより、5月20日の定期総会にて改正した「新規約」中の「視察受け入れ基準」を適用しております。故に、今回に限らず視察の受け入れをすれば、僅かばかりでも本会の会計のプラスになるような制度設計になっておりますので、これもまた本会の「事業の一種」と捉えて頂ければと思っております。

最後に、ほたる会館でホテルの話をして下さった下瀬徳行さん、同じくサル囲い檻担当だった安田政行さん、また「絶対売れるよ！」の誰かさんの誘い文句に釣られて出店して下さった横尾衛門、愛栄宮農組合、タケダ猪精肉店の皆様、ご協力ありがとうございました。

売り上げや、如何に？（笑）



愛栄宮農組合との
横尾衛門との
売店！



説明会では
ホールが
いっぱい！



午前10時
16分の風景！
（全景）



当日の出席
役員諸氏！



お帰りのバスを
皆でお見送り！



最後は2班に分かれて
集合写真！

「高槻サマーフレンドシップ 2018」、受け入れ！
（役員・運営委員・一般会員対応）



朝8時23分の風景
まずは、朝礼です！



男性陣は、テント張り等
外部作業開始！



女性陣+竹田さんは、
厨房作業開始！



午前10時30分、
予定通り到着です！



まずは、全員揃って
オリエンテーションです！



いよいよ、火燻し！
竹田さん、頑張る！



館長もハッスル！
女の子も必死です！



薪をくべるのも、初体験？
羽釜でのご飯炊きです！



笑顔で小魚の天ぷら作り！
「出来はどうじゃ？」



岡崎・野稻の息ピッタリ！
「イカ焼きなら、任せなさい！」



「羽釜ご飯は、
「どれどれ、
上出来じゃ！」



「絶品しし井の具、
完成！
早く食べたーい！」



「さあ、並んで！」
「もっと、お肉を〜！」(笑)



「神の恵みに感謝して、
頂きま〜す！」

(5)



こっそり混じって？
柳井教育長と藤岡局長！



竹松我
田本も
尚光ほ
則雄お
ささ張
んんら
んと！



昼食も食べ終えて、
ひと息ついてる女性陣！



最後の解散式！
まずは柳井教育長の挨拶！



続いて
品川会長の挨拶です！



最後は小学生代表2名！
「良く出来ました〜(笑)」



一同互礼！
「ご苦労様でした」



記念撮影は、高槻組も地元組も揃って！
「ハイ、チーズ！」



最後はお見送り！
「また、来なせ〜」

平成28年度から受け入れをしている「高槻サマーフレンドシップ 2018」が7月16日(月)、ほたる会館を会場に行なわれました。

昨年は直前のキャンセル等があり、参加者は小学生:12名、保護者:11名、引率者:3名の合計26名であり、今年も直前の「大阪北部地震」の影響から参加者の減少のみならず中止さえ心配されたのですが、なんと小学生:14名、保護者:16名、引率者:3名の合計33名の参加があり、無事盛大に交流事業が行なわれました。

10時半に到着した一行は、オリエンテーションの後、親子体験活動と称して「火燻し・火付け」を体験！昨年に引き続き、堀江応援隊員さんが持参してくれた「轆轤鑽(ろくろひきり)」に、今年は万葉公園から借用した「お手製の轆轤鑽5台」も参戦し、合計6台に親子共々大はしゃぎ！煙が出るころまでは行くものの、中々着火しない中、今年はどうも竹田尚則さんが発火成功！皆さんから「ウォー！」の歓声が上がりました。見ていますと、子供も本気ですが、割合大人が意地になって轆轤を回していたのには、微笑ましいやら可笑しいやら！

今年は、男性陣:12名、女性陣:9名がお手伝いに参加され、それぞれの持ち場を担当。今年の昼食は、持石海岸での「地引網」の釣果は散々だったようで、小アジや白キスの天ぷらは逆に高級食材の扱い！毎度の「しし井」は、今回もタケダ猪精肉店さんの全面のご協力により、絶品！その上に、羽釜で炊いた「二条のはぜ干し米」が炊ければ、言うことなし！味噌汁も何故か絶品で、出汁が良かったのか？子供達は勿論のこと、保護者の大人達もおかわり三昧！人口35万人の高槻市のような都会では、こんな素朴で美味しい食事は絶対に味わえないものだったのは、私だけではなかったでしょう。

午後1時前から解散式を行ない、柳井秀雄教育長さんの挨拶に続き、品川会長も挨拶！そして、高槻の2少年がたどたどしく微笑ましい感謝の挨拶をし、この度高槻組の皆さんにお配りした「二条ほた

るの里」の缶バッジを付けてもらい、会館前の芝生の上で記念撮影！ なにか年を重ねる毎に両市の「絆」が深まって行くように思えた、集合写真です。

ほぼ予定通りの午後1時半前、本会のメンバーや益田市の職員さんに見送られ、高槻の皆さんは帰路に就かれました。今年の参加者の中に3組ほど、2年連続で参加されていた親子がいましたが、その中のお母さんが1人「来年も参加したい！ でもこれも抽選なので、狭き門なのですよ」と言っておられました。

都会人にとって田舎とは、どのように目に映っているのでしょうか？ だんだんと日本人の故郷（ふるさと）というものの帰属意識が薄まっているように思われる昨今、この取り組みは都会人には勿論新鮮で何かを思い起こさせてくれるものなのでしょうが、地元の私達にも何かを気付かせてくれる、例えば「我が子よ、帰って来い！」といった感情をほとばしらせてくれる最高の機会だと感じさせられた、酷暑の中の1日でした！

レストランバスについて！ （役員対応）

去る6月12日（火）、（一社）益田市観光協会の方よりお話があり、「レストランバスというのがある。これを二条地区で走らせたいのだが、如何？」というものでした。

このバスは、1階がキッチンになっていて、観光地を訪ねながらオープントップの2階席で食事を楽しむ、日本初の2階建て観光バスで、現在国内に3台しかないそうです。

今は新潟県辺りでの活躍が盛んだそうなのですが、当地区の「ジビエ料理（イノシシ肉）・二条米・野菜」をメインにし、運行したいと・・・！

現在、タケダ猪精肉店（竹田尚則さん）には打診済みで、観光協会の方で（農）横尾衛門さんにも打診されるようです。大まかなルートは観光協会の方で考えられているようですが、「最少催行人数」のハードルもあります。

催行予定は、10月中旬から12月初旬にかけての「土日の半日」だそう・・・！

いずれ本決まりになれば、また詳しいことをお知らせしますので、乞うご期待！

定期総会以降の会合 （全体）

5月31日（木）	第3回 役員会
6月 7日（木）	「ルーラル・ミーティング in しまね」第2回打ち合わせ
6月11日（月）	「高槻サマーフレンドシップ」打ち合わせ
6月12日（火）	「レストランバス」初打ち合わせ
6月12日（火）	本会 暮らし部会
6月16日（土）	本会 なりわい部会
6月21日（木）	「ルーラル・ミーティング in しまね」第3回打ち合わせ
6月22日（金）	第4回 役員会
7月 9日（月）	「高槻サマーフレンドシップ」最終打ち合わせ
7月12日（木）	「INAKAライド」初顔合わせ

7・8・9月の予定（全体）

6月25日（月） ～ 7月31日（火）	「二条ふるさと便（お中元）」申込み期間
7月21日（土）	横山城址環境整備事業（なりわい部会、委託、終了）
8月 3日（金）	「二条ふるさと便（お中元）」発送
8月 5日（日）	「特定外来生物防除講習会 & 有害鳥獣被害対策勉強会」
8月中	「竹チップ・パウダー生産事業」（なりわい部会）
9月 2日（日）	「INAKAライド 2018」A.S.運営（協賛）

現在の活動と今後の活動（会長所感）

この7月に入って初旬に「西日本豪雨災害」があり、当地区でも少し被害が出ましたこと、お見舞い申し上げます。そうしましたところ、この連日の酷暑でございます。皆様におかれましては、体調管理に万全を期されますよう、お願い申し上げます。

さて、例年この時期は、6月の第2土曜日に「二条ホテル祭」があり、地区を挙げて来訪者におもてなし、7月の「海の日」には今年が3年目で、「高槻サマーフレンドシップ」の受け入れを行なって参りました。

それが今年、2年ぶりの益田市議会「有害鳥獣対策推進特別委員会」の開催、そして何よりも初めての「ルーラル・ミーティング in しまね（H30）」のパネリスト参加と現地視察受け入れには苦勞させられました。ただ、昨年9月以降の視察受け入れ攻勢をしのいで来た経験が生きて、この度の「110人」という人数の多さを除けば、何とかこなすことが出来たと感じております。

現在の本会の活動状況としては、「二条ふるさと便（お中元）」のご注文を承っておりますことと、いよいよ「竹チップ・パウダー生産」に取り掛かることです。それと、前記しましたが「レストランバス」なるお話が来ており、中々ハードルは高いものがありますが、今後の本会、そして当地区の宣伝効果としては絶大なる期待が寄せられるものであり、何とか頑張ってみようと思っております。

9月末には、本年度の「まちづくり活動特別補助金」の申請期限が来ます。本年度は、暮らし部会の「安全・安心な暮らし事業」中の「自主防災組織設立事業」の一助にと計画し、現在鋭意検討中です。

当初の「5カ年プラン」4年目の今年です。そろそろ「仕上げ」、そして「追い込み」の時期に入ってきました。また、皆様のご意見をお聞かせ下さい。よろしくお願い申し上げます。



二条里づくりの会
会長
品川勝典